



スポーツで生み出す

絆と和

岩手県スポーツ推進委員
協議会 会報
(総務委員会) 発行
2018. 5. 18 No.2



県協議会長あいさつ

岩手県スポーツ推進委員協議会
会長 佐藤 勝士

平成 30 年度 岩手スポーツ推進委員協議会 一年度の始まりにあたりー

県内 710 名のスポーツ推進委員の皆様には、日頃より本県並びに地域スポーツの推進に御尽力をいただいておりますことに心から感謝申し上げます。

昨年は、「第 55 回東北地区スポーツ推進委員研修会岩手大会」を本県北上市において、東北六県より、1,000 名を超えるスポーツ推進委員及び関係者をお迎えして盛大に開催することができました。御尽力いただいた皆様に厚く御礼申し上げます。有難うございました。

さて、皆様、あらためて「スポーツ推進委員とは…」と質すと、日頃実践しているのに即答出来ない人はいませんか？体を動かすことを実践し、取り組んでいるのに言葉を発することが難しいものです。「何気なく使っている」ことが答えられない理由であり、目的の本心をつかんでいないと、思うように答えられないものなのです。

「健康増進・体力維持」そのためには、皆様を楽しませながら体を動かす、継続させる方法を準備し、取り組まなければ続かないのです。自分自身も楽しく指導でき、皆様をも楽しくやっている姿を見られることができる理由なのです。

今年度は、県大会が沿南ブロック（上閉伊地区）釜石市で、東北地区研修会は、宮城県（登米市）で全国研究協議会は鹿児島県（鹿児島市）でそれぞれ開催されます。また、岩手県初任者研修会も二戸地区で開催すべく企画中です。自己研修も含め、地域のスポーツリーダーとして研鑽を積み、提供できるよう心がけていただきたいと思います。

これから、2020 年の東京オリンピック・パラリンピック競技大会で、スポーツに対する国民の関心度、期待が一層高まっていくのは確実であり、スポーツ推進委員として、今後のスポーツ情勢や地域住民のニーズを敏感にとらえて、それぞれの地域での活動に生かしていただきたいと思います。

全国連合も、今後のスポーツの在り方について議論がなされておりますが、県協議会としても、「高齢社会に対する健康長寿や障がい者との共存共栄社会」への対応も取り組まなければと考えております。

連絡先 県協議会事務局

☎019-629-6496 [県スポーツ振興課]